

学校目標	中長期的目標	今年度の重点目標
1 基本的な生活習慣を確立し、豊かな知識・表現力、創造的な思考力を身につけた生徒の育成を目指す。	自律的な生活習慣の確立を図る。	生徒・保護者・地域の方々に、さらに理解・信頼される学校創りをを目指す。
2 学年、学級担任、教科担任、クラブ・委員会顧問、各係等が相互に連絡・連携を密にし、全教職員が同一歩調で生徒への指導に当たれるようにする。	学習支援の環境を整備する。	土曜日の有効活用を含め、学習習慣の定着を図るとともに、授業内容の一層の充実を目指し、学習環境を整える。
3 保護者、地域の方々の要望に謙虚に耳を傾け、健康で逞しい若者を育成することを目指す。	自己の適性の伸長と学力の向上を図り、希望進路の実現に向けた指導をする。	生徒会の委員会やクラブと連携して、生徒の自律を促し、活気ある学校創りに努める。
	全教職員の連携により円滑に機能するような学校運営を行う。	学力の向上に向けて、学年内・教科内および学年間・教科間の連携を強化する。
		進学対応型単位制を含め、生徒の多様な進路希望に対応した、特色ある教育課程を研究し、施行する。

総合評価		
今年度重点目標に対する成果と課題（前期）	評価（前期）	今年度重点目標に対する改善策・向上策（前期）
授業や土曜講座および学校全般の学習環境整備が進みつつある。生徒や保護者のアンケート結果や公開授業(2回)の反省をどう生かすか課題である。 運動系各クラブの校地周辺清掃活動が生徒の自主的活動として定着してきている。更に日頃の活動への積極性が求められる。 進路指導係・学習指導係を中心に、学年・教科の連携した指導体制が整備されつつある。また、学年・進路通信なども多く発行され、生徒および職員全体の意志疎通も図られている。今後は保護者との連携もより強くして、学力向上に取り組む必要がある。 来年度から進学対応型単位制へ完全移行することに伴い、引き続き、生徒の進路実現により対応しやすい教育課程が研究され、その運営方法にも検討を加えられた。今後は多様な生徒の希望や受験形態に対応できる体制と学習内容の整備が課題である。	B	更なる努力、改善を目指したい。また、アンケート等を研究し、学習環境を一層向上させる。 新執行部への引継ぎを確実にし、加えて生徒自らが考え行動できるようなサポートを行う。 学年・教科に加え、各係における取り組みが、相互に効果を発揮できるように、その連携についても更に研究を加える。また、学力向上に向けて保護者との連携を図る。 魅力ある学校・特色ある学校づくりについて、生徒・保護者および校外からの要望も取り入れながら研究する。また、進学対応型単位制へ完全移行することに伴い、中学生・保護者や地域の皆さんから、より深い理解を得られるように工夫する必要がある。

<評価> A:達成 B:ほぼ達成 C:改善の余地有り

領域	対象	今年度の具体的目標（評価項目）	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策	
教育活動領域	教育課程	1 生徒の多様な進路希望に対応した教育課程を研究する。	・大学入試、生徒の進路希望を分析研究し課題を明確化できたか。	・多様な進路分野を考慮した教育課程表を作成し検討しつつある。しかし、単位制のメリットである多彩な講座開講に対しては全体の理解が得られていない。	B	・引き続き職員の理解を得よう努力する。	
		2 単位制三年次の教育課程を確定する。	・進学対応型単位制（選択制）を含め、特色ある教育課程の実現に向け、生徒・地域の多様な要望に対応した、カリキュラムが作成できたか。	・半期設定科目の検討がすすみ開設科目の見通しが立ちつつある。	B	・半期設定科目の決定、その他課程表と展開表を完成させる。	
		学習指導	1 学習意識の向上を図る。	・学習習慣の定着・向上がみられたか。 ・学習・生活オリエンテーション、学習合宿が有意義であったか。	・全体で通年取り組み中である。 ・学習、生活オリエンテーション、学習合宿は有意義であった。	B	・全体で随時良い方法を研究したい。
			2 放課後や土曜日の自主学習支援の充実を図る。	・自習室を多くの生徒が利用できる工夫、環境整備ができたか。	・考査前以外は利用人数は少なめであるが、工夫し続けたい。	B	・自習専用教室が引き続き開かれ、使用されている。自習可能な日時には必ず当番が開けておくこと。
			3 職員間の連携を深める。	・学力状況にかかわる情報を広く共有できたか。	・評価評定に関する会議が学期毎に行われ、職員全体に各模試の成績、又センター総括が行われている。	B	・引き続き各学期の評価評定、各模試の成績、センター総括を職員全体で共有していく。
	進路指導	4 校内授業公開、授業研究会の充実を図る。	・相互の研修の機会を有効に活用できたか。	・年一回全職員が自由に見合える週を設定した。	B	・なお一層職員が相互に授業を見学し、研究することを促していく。	
		5 生徒からの声を反映する。	・生徒による授業アンケートや生活実態・学習状況調査を実施し、結果を指導の改善に生かしたか。	・実施済み。現在集計、分析中。	B	・去年からの新方法で問題は無いと思われる。	
		6 国公立大学を中心とする生徒の希望進路の実現に向けた指導を適切に行う。	・センター試験（5・7型）に多くの生徒が参加したか。	・現時点で評価することは出来ない。			
		7 後期日程廃止等の受験形態の変化に適切に対応する。	・生徒への情報提供等、指導が適切であったか。	・情報を適切に伝え、対応を図っている。	B		
		8 『進路選択の手引き』、『合格体験記』を活用する。	・HRや教科での活用が進んだか。	・各学年・クラスで統一して取り扱う時間的な余裕がない。	C		
生活指導	進路指導	4 中学校との連携を図る。	・中学校との情報交換会や連絡会がもてたか。	・実施の有無を含め検討する時期にきている。	B		
		5 検討会や研修会の充実を図る。	・模試検討会、3年進路検討会で職員の共通理解が進んだか。	・転勤等で職員が入れ替わることで、共通な理解が得にくく	B		
		6 大学見学会を実施する。	・より多くの生徒が大学見学会に参加したか。 ・生徒が大学の情報を得たか。	・多数の生徒が参加し、効果的であった。	A		
		7 進路講座の充実を図る。	・各学年とも生徒の志望や関心に応える内容であったか。	・良好であった。	A		
	生活指導	8 夏期講座・土曜講座・特編授業の充実を図る。	・多くの生徒が熱心に参加できたか。	・現状でいいとは思いますが工夫も必要と思われる。	B		
		9 進路教材を有効に活用する。	・サテライト授業が計画的に活用されたか。	・有効に利用している。	A		
		1 自律的な生活習慣の確立を図る。	・遅刻をなくす指導ができたか。 ・交通安全の意識を高めるような指導ができたか。 ・貴重品管理の徹底ができたか。	・第1回遅刻指導を行った（5月）。指導期間中は遅刻者数は減っている。 ・春の交通安全指導を行った（4月）。 ・現金、他貴重品の盗難・紛失が多発してしまった。	C	・昨年度に初めて冬期の遅刻状況実態調査を行った結果も踏まえ、冬期の指導に臨みたい。 ・持ち物への記名、貴重品への施錠（ロッカー）等を繰り返し呼びかけるしかない。	
		2 集団生活の中での人間関係の確立を図る。	・生徒が安心して学校生活を送れるように、「いじめ」がなく、「不登校生徒」に対して十分な援助ができる体制作りができたか。	・日常的に、また、問題行動発生時に生徒の安心には配慮して指導を行っている。 ・いじめ・不登校等対策委員会との連携を図っている。	B	・生徒相談室をカウンセリング等で使用するとともに、必要な場合、生徒指導にも利用する現在の方法を続けたい。	
		3 職員間の情報の共有化と関係機関との連携を図る。	・校外での情報交換を本校の生活指導に生かしたか。 ・学校と保護者との連携を密にした生徒指導が行えたか。	・十分な連携が図れている。	A		
4 生徒会との連携を図る。	・校風委員会と連携して、「挨拶運動」、「自転車の駐輪マナーの向上運動」を実施したか。 ・部室清掃（5月・10月）を実施したか。	・校風委員会等との連携がうまく図れている。 ・部室周辺清掃は今年度整美委員会呼びかけを行っている。	A	・自転車の鍵を2重にかけさせる指導を今後も積極的に行いたい。			

人権平和	1 基本的な人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。	・人権や平和の問題について積極的に考え、行動する力を伸張する機会や場を設けることができたか。	・10月の人権平和講演会では、「盲導犬とともに歩んだ27年」と題して、視覚障害者の講師の方をお招きした。盲導犬も連れてこられ、自らの体験に基づく、貴重なお話を聞くことができた。 ・2年生の沖縄への修学旅行の、事前学習や各教科の学習においても、さまざまな角度から人権平和問題に取り組むことができた。	B	・一分野の人権問題に留まらず、いろいろな分野での人権問題について、広い視野に立って生徒に考えさせる機会を設けて行きたい。
	2 自主的・民主的な集団づくり、仲間づくりを図る。	・ホームルームを中心に、生徒会活動、クラブ活動などを通じて、集団や仲間について学ぶ機会や体験する場を設けることができたか。	・文化祭(龍胆祭)の準備および当日の活動を通して、クラス・学年を超えた広い範囲での仲間づくりや自主的・民主的な場を体験することができた。 ・クラブ活動やクラスの活動(クラスマッチなど)を通して、集団や仲間について考える場を設けることができた。	A	・日頃の生活の中での仲間づくりについて、生徒にじっくり考えさせる時間や機会が取れるように努めたい。
生徒会	「生徒会活動の活性化を図る。」 1 計画性を持って準備をし、実施後の反省を次に生かす。	・生徒会活動(特に、りんどう祭と卒業式第2部)、委員会活動、クラブ活動が計画通りに実施できたか。 ・地域に関係する取り組みを計画し、実施できたか。	・行事については、改善の余地はあるものの、全体として計画通りに行われた。地域と連携した取り組みは更に積極的な取り組みが必要である。	B	・りんどう祭も含め、地域と結びついた企画を考えたい。次の行事に向け、早めに企画・立案し、問題点を事前に解決する努力をさせたい。
	2 活動を通して、自主性の涵養を図る。	・自治活動や奉仕活動の達成感や満足感が得られたか。	・朝の地域清掃活動は定着した。学校生活の中で、自分たちの問題であるとの意識で取り組む姿勢を涵養したい。	B	新生徒会の立ち上げにあたって、その組織作り・コミュニケーション能力の成長を図り、自分たちが問題を解決する力を確立したい。
	3 環境に配慮した取り組みを生徒会として行う。	・環境に関する企画をし、実施できたか。	・文化祭や日常生活でのゴミの分別や減量化、落ち葉の堆肥化など成果が現れつつある。	A	継続した取り組みに加え、新たに取り組めるものを探し、環境に配慮した学校を目指したい。
図書視聴覚	1 図書館利用の更なる拡大を図り、読書習慣を定着させる。	・図書館利用が増えたか。 ・貸出数は増えたか。	・図書館利用はほぼ例年並みである。図書貸出数は例年以上に増加しています。	B	・図書館だよりの発行回数を増やしたことが貸出数の増加につながったと思われるので、この企画を続けていきたい。
	2 教科・授業、小論文等への資料の充実を更に図る。	・利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。	・教科・授業、小論文等を優先して、資料の充実を図っています。	B	・各教科、係りの要望に応える努力を続けます。
	3 冬期間においても快適な環境を整え、更なる施設の利用を図る。	・冬期間、多くの生徒が利用したか。	・この段階では判断できません。		
	4 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。	・利用しやすい環境を作り、視聴覚室が有効にりようされたか。	・視聴覚室は定期的で使用しています。	B	・使用しやすいように整備を心がける。
保健	1 心身の管理を図る。	1 保健室への来室者への対応が適切であったか。また、関係者や関係係との連絡・連携ができていたか。 2 緊急時、保護者への連絡および医療機関との対応が迅速・適切にできたか。 3 学校保健安全法に則り各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。	・関係職員、関係係との連絡を密にするようにしている。 ・緊急時は保護者および医療機関への連絡が迅速にできるよう、関係者との連絡が迅速にできるようにしている。 ・定期健康診断は計画通り終了した。個々への指導は継続的に行っていく。	A	
	2 環境の管理を図る。	1 学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かしたか。 ・飲料水水質検査、プール水質検査、教室内の空気検査、照度検査、ダニまたはダニアレルゲン検査、化学物質検査 2 トイレが清掃され、清潔であるかの確認 3 校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善	・飲料水水質検査、プール水質検査、ダニまたはダニアレルゲン検査は実施済み。 ・トイレ等の清掃活動は、随時実施。	B	・安全かつ適切な環境のもとで学校生活が送れるよう、環境検査をおこない結果には迅速に対応していきたい。
	3 保健指導を充実させる。	1 生徒が自分の健康に関して興味関心をもてるような広報活動 ・保健委員会等による広報活動 ・保健委員会の活動支援	・広報活動はこれから数回発行予定 ・委員会への支援・助言は継続して行っていく。	B	
PTA	1 PTA総会、学年・学級PTAを活性化し、相互理解を図る。	・総会、学年・学級PTAに多くの人が参加したか。	・多くの保護者の参加が得られた。(1年) ・昨年同様、約半数の保護者の参加。(2年) ・短い時間ではあったが、久しぶりに学級PTAも開いて、保護者の声を直接聞くことができた。(3年)	A	音楽班の素晴らしいハーモニートと室内楽班の華麗な演奏の後、総会が始まりました。心が洗われる思いがしました。スムーズな運営に一役かったようです。
	2 PTA研修会を通して、高校生の健全育成・適性進路について研鑽を積む。	・PTA研修会の満足度が高かったか。	・内容が盛沢山で焦点が絞れなかった。(1年) ・保護者多数から好評であった。(2年) ・進路指導主任から大学入試の現状と保護者の心得について、わかりやすく説明をしていただいた。(3年)	B	PTA研修会にて、今回の進学講演会の板垣先生の講演は素晴らしいお話でした。大変勉強になり、感動しました。ありがとうございました。(PTAアンケートより)
学校運営	1 学校が更に円滑に運営されるように努める。	・諸行事の計画を早めに立て、生徒・職員への周知徹底が図れたか。 ・月曆の発行がされたか。 ・事務処理、成績処理のO A化をさらに推進できたか。	・ほぼ出来た。 ・よく出来た。 ・校内イントラネットの職員連絡掲示板の活用が出来ている。	B	・O A化の推進につとめたい。
	2 校内の情報を外部に発信し、本校への理解を深めてもらう。	・授業公開、体験授業、学校説明会に多くの中学生・保護者・他校教職員・地域住民等に参加していただけたか。 ・ホームページで校内の様子が紹介できたか。 ・本校の将来構想を地元の各中学へ紹介できたか。	・多数の中学生・保護者・引率職員の参加が得られた。 ・ホームページの更新につとめて ・学校紹介パンフレット・ポスターなどを作成し、分担して各中学校へ向けてPRした。	B	・外部に対して、更に様々な情報が発信できるように工夫したい。
予算施設	1 老朽化および危険箇所への十分な対応をする。	・生徒への危険が事前に回避されていたか。	・女子部室の前庭の水ぬき、大体育館へ行く廊下の防球ネットの取り付け、音楽室準備室の壁ぬき、等、順次必要性の高いところから整備がすすんでいます。	A	・生徒の歩行等の安全を高めるための危険箇所のさらなる整備につとめます。
	2 県費およびPTA会費により生徒の教育環境を充実させる。	・備品、設備、施設等の整備ができたか。	ハンマードリル、ビジュアルプレゼンター、書架、パレー部トス練習機の購入等必要性の高いものから順次入れています。計画的に整備しています。	A	・生徒、保護者、教職員の意見、要望を聞きながらさらに教育環境の充実に努めます。
情報処理	1 情報処理機器、ネットワーク利用による一層の校務合理化の推進を図る。	・データベースを整備し、今まで以上の活用ができたか。 ・ワードやエクセルを中心としたアプリケーションの利用者が増えたか。	データの共有化がもう少し便利に使えると良い	B	
	2 情報処理機器、ネットワークを使った教育活動の推進を図る。	・授業で活用できたか。 ・授業や生徒の様子を外部に発信することができたか。	・情報科ではよく利用している。 ・ホームページを利用し、外部に発信した。	A	他の教科でも利用できるように、機器等の整備に努める
	3 情報リテラシー教育の推進を図る。	・個人情報・著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員・生徒に伝えたか。 ・クラブ活動、特別活動などで正しい知識と実践を指導できたか。	・年度初めに周知徹底を図ったが、個人情報の保護がうまくいか ・ほぼ実践できた。	C	個人情報の保護に関して、いっそうの周知徹底を図る。
防災	1 緊急体制を整備・確立する。	・生徒・職員の緊急連絡網が整備されたか。 ・避難訓練が有効に行えたか。	・4月中に整備できた。 ・スムーズに避難を完了することが出来た。	A	緊急時に迅速に対応出来るように努める。
	2 緊急時の対応方法を確立する。	・緊急避難経路が生徒に対して周知徹底されたか。 ・緊急時の対応が適切であったか。	・避難訓練等を通じて周知されている。	B	継続して安全・安心な学校運営に努める。